

委員会の動き

大きな成果を挙げて終了した昨年の人権大会シンポジウム第一分科会は、その後も大きな反響を呼んでいる。官庁、研究者、諸団体などから資料の請求が相次ぎ、基調報告書は底をついた状況である。政党からは説明を求めたいとの要請もあり、関係者は対応に追われている。

# 人権を守る

2002.1.1  
第11号

※題字は北山六郎元日弁連会長

## 日弁連人権ニュース

編集責任：日弁連人権擁護委員会

### 本号の主な内容

- 特集 テロ・報復攻撃・内戦被害
  - ・アフガン支援活動の現場から
  - ・テロ特措法等に対する声明・決議
  - ・アフガン難民申請者収容事件
- 新しい人権救済機関 政府からの独立性に危惧
- ハンセン病問題に対する九弁連の取組み

●本号の内容についてのお問い合わせは日弁連事務局人権部人権第1課まで

# 特集 テロ・報復攻撃・内戦被害

## アフガン支援活動の現場から

### 中村哲医師に聞く



(中村哲医師の略歴)

一九四六年福岡市生まれ。九州大学医学部卒。パキスタン北部の遠征登山隊に同行した際、医療事情の悪さに接したのがきっかけとなり、一九

八四年ペシャワールに着任。一九八六年からはアフガニスタンにも活動を拡大し、現在に至っている。ペシャワール会現地代表、PMS(ペシャワール会医療サービス)院長。

空爆が始まる前のアフガニスタンの状況について教えてください。

アフガニスタンは、昨年来の大旱魃で、この一年間で百万人以上の人が亡くなりました。全土の半分以上、少なくとも東部地域の五割以上は廃村になっています。

米軍の空爆や北部同盟の侵攻によって、現地の人々の生活やペシャワール会が行っている援助活動への影響はありましたか。

治安が悪くなりました。タリバン支配のころは、日本以上に治安がよく、タリバンが治安を維持していたお陰で、われわれも診療活動や食糧援助を円滑に進めることができました。ところが、北部同盟の侵攻以後、略奪はもとより虐殺も起きています。カブール市民の何割かは、虐殺を恐れて移動し始めています。そして、政情不安のために、現在はほとんどに食糧輸送ができない状態です。食糧輸送が滞って、そのために亡くなる被害者も相当な数に上るだろうと思います。この冬の食糧配給の最も大事な時期に混乱状態をつくったことは許せません。

空爆で一般市民も被害を受けているようですが。

現地では、空爆は拠点攻撃だけと聞いていたんですが、いざ蓋を



父親を抱える少女を負傷した少女を2001年11月撮影、提供

開けてみると、所構わず爆弾が落ちてきました。われわれの活動地域では、ほとんど関係のない一般市民が犠牲になりました。特にジャラバード地域では、基地とは無関係の所に爆弾を落とされ、死者だけで二百数十名、その後重傷

で亡くなった人を含めると、犠牲者の数はさらに多数に上ります。今回の同時多発テロについて、現地ではどういう受け止め方をされていますか。

罪のない人が巻き添えになることを喜ぶ人は一人もいなかったと思います。ただ、自分たちが攻撃の対象になることについては「何でわれわれが」という思いが非常に強かったです。爆撃で足をやられた難民が「必ず復讐する」と言っていました。それが一般の人の心情を代表していると思います。空爆の結果、テロリストやその支持者の数は一桁増えたと思います。

日本が自衛隊を派遣することに決まっていますか。

「日本よ、お前もか」という感じですね。アフガニスタンもパキスタンも、今まで最も対日感情のいい国でしたが、それに陰りが見えてきて、われわれの活動にも支障が出ています。例えば、われわれの車輦には日章旗をつけていました。そうすると、襲撃されませんでした。ところが、今では日章旗を外さないと、石を投げられたりします。国会議員がペシャワールに来て難民キャンプを視察に行った際に、唾を吐きかけられたり石を投げられたりしたということも起きています。そんなことは、今までであれば考えられなかったことです。

また、難民キャンプの設営に協力するために自衛隊が来るらしいという話を事務長にしたところ、

「それは何か悪い冗談じゃないか。それは軍隊の仕事ではなくシビリアンの仕事だ。天下の日本がそんなことをするはずがない。これは日本の評判を落とすためのアメリカの陰謀だ」と言って笑ってました。どうやってテロはなくせると言いますか。

異なった体制の社会が平和に同居していくという道が大事だと思います。何であんな弱り果てた、早魃だけでも自滅しそうな国を、世界の列強が攻撃するのかわかると。自分たちのようにしないと。気が済まないというか、優越感、差別意識があるように思います。違った社会を尊重することが必要だと思います。

アフガニスタンの人たちは、日本に何を求めていますか。日本にできることは何でしょうか。

緊急の問題としては、食糧や水を豊富に確保することが必要です。さらに、中期的・長期的には、農業を中心とするインフラの整備が必要だと思います。アフガニスタンは、基本的に農業国家です。自給自足の形態が復活するような基盤を与えるべきだと思います。日本のモデルを押し付けるような支援をすべきではなく、アフガニスタンのインフラとは何かというのを考えて、治水工事をすると、耕地が増えるように水利施設をたくさん作るとか、そういう形の援助が最も喜ばれると思います。